

国際競争力強化技術開発プロジェクト 国際競争力を強化する果樹茶新品種育成 【研究概要図】

1. 研究目的

黒星病真性抵抗性りんご系統、自家和合性を併せ持つ黒星病真性抵抗性なし系統、機能性成分高含有かんきつ系統、カフェインレス茶系統、日持ち性に優れるかき品種の育成・選抜により、果樹・茶のさらなる輸出拡大に資する新品種の開発を目的とする。

2. 研究背景

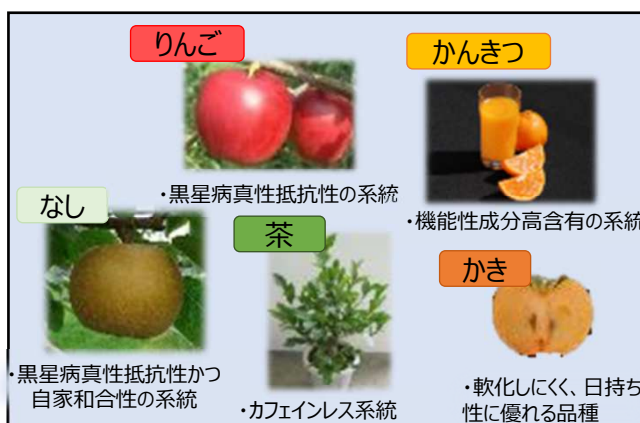
果樹・茶について、国際競争力を強化しさらなる輸出拡大を実現するため、海外の残留農薬基準への対応が可能となる病害抵抗性と省力安定生産による低コスト化生産に繋がる省力栽培性、輸出先での高付加価値販売が期待できる機能性、長距離輸送の際に課題となる日持ち性等に優れた新たな品種・系統を作出する必要がある。



輸出拡大のために果樹・茶でクリアすべき課題

3. 研究内容

- ①海外の残留農薬基準への対応のため、りんご、なしにおいて黒星病真性抵抗性系統の開発を実施。
- ②輸出先での高付加価値販売のため、機能性成分高含有かんきつ系統、カフェインレス茶系統の開発を実施。
- ③長距離輸送の際に課題となる日持ち性の改善を図るため、軟化しにくいかき品種の開発を実施。



開発を目標とする品種・系統

4. 達成目標・期待される効果

達成目標

- ・りんご、なし、かんきつ、茶の有望系統を各1系統以上開発。
- ・既存品種より日持ち性に優れるかき1品種以上を開発。



期待される効果

- ・抵抗性品種普及による、国産果実安定生産の実現。
- ・高付加価値付与と日持ち性改善による国際競争力の強化と国産果実・茶の消費拡大。

研究代表機関：農研機構果樹茶業研究部門

共同研究機関：